

寒さも徐々に緩み 春の暖かさが待ち遠しい今日この頃ですね

2022 No.274

JALしもつけ



毎月18日は「3食ごはんの日」

地場産の農産物をたくさん食べて元気に春を迎えましょう



当JAのイメージキャラクター「シモンちゃん」と栃木市マスコットキャラクター「とち介」の貴重な2ショット
(令和4年栃木市新春賀詞交歓会にて)

特集

しもつけ



第46回「ごはん・お米とわたし」
作文・図画コンクール表彰式 …2
都賀・田藤徹雄さん名誉農業士に認定 …3
藤岡・瀧田正則さんニラ立毛共進会で最優秀賞 …3

ホームページ



facebook



instagram



<http://www.ja-shimotsuke.jp/>



第46回「ごはん・お米とわたし」 作文・図画コンクール表彰式



このほど開催された第46回「ごはん・お米とわたし」作文・図画コンクールでは、県内の小・中学校から作文3,796点、図画3,158点の応募があった中、当JA管内では、作文部門で3人が金賞に選ばれ、1月7日、宇都宮市のJAビルで表彰式に臨みました。

栃木県コンクールにおける、JAしもつけ管内の金賞受賞者はこちらの皆さんです。

🏆 栃木県コンクール 🏆

- 🏆 作文部門1部 金賞 家中小学校1年 長 直輝さん
- 🏆 作文部門1部 金賞 吹上小学校3年 加藤由唯さん
- 🏆 作文部門3部 金賞 南犬飼中学校2年 上田隆也さん

受賞されたみなさん、このたびは誠におめでとうございます

Contents

JALしもつけ 2月号 2022.2

274
No.

2	第46回「ごはん・お米とわたし」作文・図画コンクール表彰式	8~9	しもつけトピックス
3	都賀・田藤徹雄さん名誉農業士に認定	10	しもつけ文芸
	藤岡・瀧田正則さんこう立毛共進会で最優秀賞	11	直売所通信
4~5	営農トピックス	12~15	インフォメーション
6~7	みんなのひろば	16	今月のお楽しみ

農業が魅力ある成長産業に発展することを期待 都賀・田藤徹雄さん 名誉農業士に認定



栃木県は1月11日、宇都宮市で令和3年度栃木県農業士・女性農業士・名誉農業士の認定式を開きました。今年度、農業士5人、女性農業士4人、名誉農業士15人が認定を受け、当JA管内では、都賀地区の田藤徹雄さん(67)が名誉農業士の認定証書を交付されました。

イチゴ生産者である田藤さんは、平成5年度農業士の認定を受けて以来、約28年の長きにわたり地域農業の発展に尽力されました。

認定式の際、代表者あいさつに立った田藤さんは「農業が魅力ある成長産業として発展することを切に願っています」と強調した上で「新たに認定を受けた農業士、女性農業士の活躍を期待します」とエールを贈りました。

藤岡・瀧田正則さんが最優秀賞 JAしもつけニラ部会 第15回立毛共進会



最優秀賞を獲得した藤岡支部の瀧田正則さん

- 第15回立毛共進会入賞者
- | | |
|------|--------------|
| 最優秀賞 | 瀧田 正則さん (藤岡) |
| 優秀賞 | 落合 正好さん (大平) |
| 優良賞 | 久我 敏夫さん (栃木) |
| | 峯岸 松司さん (大平) |
| 佳良賞 | 荒川 昭夫さん (栃木) |
| | 中田 勇さん (都賀) |
| | 阿久津全子さん (壬生) |
| | 川口 友宏さん (大平) |
| | 佐山 卓さん (岩舟) |

入賞されたみなさん、
このたびは誠におめでとうございます

JAしもつけニラ部会はこのほど、第15回立毛共進会の表彰を行い、最優秀賞に輝いた藤岡地区の瀧田正則さんをはじめ入賞者9人の栄誉をたたえました。審査は昨年10月25日に県職員、JAグループ職員ら審査員13人で実施し、生育状況、病害虫防除の他、肥培管理等の栽培状況を総合的に審査しました。なお、第15回立毛共進会の入賞者と所属支部については左表のとおりです。

部会員の仲間たちや家族らの『人』にも『土』にも恵まれた環境の中で、小さいことの積み重ねが今回の受賞につながりました。今後も消費者に喜ばれる良質なニラを作り続けていきたいです。

大平

岩舟

両地区ブドウ生産組織が総会 次年度に向けて気持ち新たに



12月10日、大平町ぶどう組合と岩舟町ぶどう生産出荷組合が相次いで総会を開きました。両生産組織とも、前年度の活動を振り返るとともに、次年度に向けて気持ちを新たにしました。

須藤勲組合長を再選 第71回通常総会を開催

～大平町ぶどう組合～

大平町ぶどう組合は12月10日、大平支店会議室で第71回通常総会を開きました。組合員43人が出席。2021年度事業報告・収支決算と2022年度事業計画・収支予算の設定の他、役員改選を行い、須藤勲組合長ら役員8人のうち会計を除く7人を再選しました。また、今年度の優績者表彰を行い、ハウス、雨除・露地、キャンベルの3部門の各優績者3人を表彰しました。

新組合長に小野新一さんを選出

令和3年産の出荷反省会と第23回通常総会を同時開催

～岩舟町ぶどう生産出荷組合～



岩舟町ぶどう生産出荷組合は12月10日、岩舟地区営農経済センター会議室で令和3年産の出荷反省会と第23回通常総会を開きました。組合員35人が出席。反省会では、販売経過や実績等を検討した他、昨年6月のハウスブドウ、9月の露地ブドウ各品評会の入賞者を表彰しました。

また、通常総会では、役員改選を行い、新組合長に小野新一さんを選出しました。

次年産のさらなる品質向上に向けて 各生産組織が講習会を開催

次年産のさらなる品質向上を目指し、このほど各生産組織が講習会を開き、栽培技術の研鑽に努めました。

「にっこり」「あきづき」両品種の 特性と剪定ポイント再確認 岩舟町静和梨生産出荷組合

岩舟町静和梨生産出荷組合は1月12日「にっこり・あきづき剪定講習会」を開きました。組合員13人が参加。同組合の井上俊男生産技術部長のほ場を使い、県下都賀農業振興事務所職員の指導のもと、剪定作業のポイント等を再確認しました。

講師は、県下都賀農業振興事務所経営普及部いちご園芸課の山中佑太技師が務めました。講師は、まず「にっこり」「あきづき」両品種の特性や剪定のポイント等について説明。その後、参加者が実際に剪定作業に臨みました。互いに活発に議論し、各自の培った経験に基づき、情報を出し合い、積極的に情報交換しました。



梨の剪定作業に臨む参加者

次年産の優良種子栽培に向けて 栽培講習会

JAしもつけ採種部会岩舟支部

さらなる優良種子の栽培につなげようと、JAしもつけ採種部会岩舟支部は1月14日、岩舟地区営農経済センター会議室で「水稻・麦種子栽培講習会」を開きました。部会員20人が参加。県やJA全農とちぎの職員を講師に迎え、優良麦・水稻種子の生産、栽培技術の向上を図りました。



講習では、県下都賀農業振興事務所経営普及部農畜産課の塚原俊明主査が、転炉スラグの土壌混和と農薬の適期散布について説明しました。これに伴いJA全農とちぎ生産資材部肥料・農薬推進課の鯉沼利通審査役が、採種農家向け肥料・農薬推奨品について説明。その中で、転炉スラグに関する商品の紹介も行いました。最後に、JA全農とちぎ米麦部農産課の大沢数紀氏が、次年産水稻種子の需要見込みについて情報提供しました。

とちぎ産のニラ・イチゴゼリーを 栃木市内の全小・中学校の給食で提供

JALしもつけは1月から2月にかけて、栃木市(西方地区を除く)の小・中学校40校の児童・生徒・教職員計11,858人に対し、学校給食で地元産のニラ、地元産のイチゴを使ったゼリーを提供しました。「地元特産品を利用した食育応援事業」の一環です。地元産の農産物を味わうことで、食への関心や食を支える農業の役割を感じてもらうことが、この取り組みのねらいです。



給食を味わう生徒たち



ゼリーのパッケージには、栃木市のマスコットキャラクター「とち介」と当JAのイメージキャラクター「シモンちゃん」が描かれています



✉ 壬生/Y・Hさん/72歳/女性

先日、買い物の帰りに「しばらく焼き芋食べていないね」と夫と話していたら、ちょうど壬生地区農産物直売所「いなばの郷」の前に差し掛かりました。早速、焼き芋を買って、暑いうちに食べました。甘くてとても美味しかったうえに、この日は「ポチカポイント3倍デー」で、さらにラッキーでした。



📖 コメント

寒い冬は、時折無性に焼き芋が食べたいことがありますよね。これからもJALしもつけの農産物直売所で、地元産の新鮮な農産物をお得に買って、美味しく食べていただければと思います。

✉ 大平/Y・Tさん/93歳/男性

コロナ禍による自粛生活の中、自家製のキャベツをAコープ商品の「らっきょう酢」で漬けています。甘味があって、美味しいです。梅漬けにもこの商品を使っています。

📖 コメント

Aコープの「らっきょう酢」は、我が家でも大活躍です。ほどよい酸味と甘みが野菜の美味しさを引き立てますよね。私も梅漬けに挑戦してみようと思います。



このコーナーでおしゃべりをしませんか。農作業のこと、子育てのこと、介護のこと、またJAについてのご意見など、今感じていることや思っていることをお便り下さい。(掲載できない場合もあります)

読者からのお便り

小規模葬対応ホール

まごころ庵 西水代

1周年記念祭を開催

みんなの



大人気の米のすくい取り
「大きく手を広げて…それっ」



JAしもつけ葬祭センターは、1月22日と23日の2日間、昨年12月でオープンから1周年を迎えた小規模葬対応ホール「まごころ庵西水代」で「1周年記念祭」を開きました。

イベントでは、感染対策を十分に施した上で、初日はバルーンマジックショー、2日目はそば打ち体験教室を開催した他、2日間共通で、ホール内の見学会や米のすくい取り、来場者プレゼントで来場者をおもてなし。同ホールの積極的なPRにつなげました。

【お問い合わせ】

JAしもつけ葬祭センター

TEL 0282 (29) 1788

詳細はJAしもつけのホームページでもご覧いただけます

読者からのお便り



岩舟/Y・Tさん/83歳/女性

先日、仲間たちと味噌づくりをしました。孫娘が手伝いに来て、麴の作り方に感動したらしく「これから味噌汁が何倍もおいしくなる」と嬉しい言葉をもらい、今後も味噌づくりを頑張ろうという気持ちになりました。

コメント

味噌づくりを通じて、お孫さんへの伝統的な食文化の継承ができましたね。お孫さんのためにも、これからもお元気で味噌づくりに励んでください。



大平/S・Kさん/72歳/女性

元日に孫2人が来てくれました。みんなで楽しくお昼を食べ、お年玉をあげたら、嬉しそうに受け取りましたが、まだ小さいのでお金の価値が分かりません。何歳になったら分かるようになるのか、成長を楽しみに見守りたいと思います。



コメント

確かに、幼少のお子さんにとってお年玉は「何かもらえて嬉しい」けど、お金の価値については分からないことが多いでしょうね。今後、お孫さんの成長がますます楽しみですね。



栃木/O・Sさん/70歳/女性

今年の正月は、福島にいる息子が2年ぶりに帰省することができました。3人の孫の成長が著しく、ほほ笑ましい限りでした。何より嬉しかったのは「3番目の女の子が婆ちゃんにそっくりになってきたよ」と言われたことです。

コメント

「孫は目に入れても痛くない」と言いますが、それだけ可愛いお孫さんが自分に似てくるといって、ますます可愛さが倍増しますよね。



カゴメ株式会社との契約栽培で安定収入に期待 壬生地区で加工用ニンジンが出荷最盛迎える



12月下旬から2月上旬にかけて、壬生地区では、加工用ニンジンのお荷時期を迎えました。当JAでは「カゴメ株式会社」との栽培契約を結び、規格内であれば、お荷した全量をお社が買い取ります。また、事前に決めた価格で販売する契約栽培のため、生産者は安定して収入を得ることが出来ます。そのため、地産地消や農商工連携の取り組みとしても注目を集めています。

ゴボウに代わる作物として始まった同地区の加工用ニンジン栽培は、一時は70人ほどの生産者がいましたが、高齢化により生産者は年々減少傾向。現在は、3人の生産者が48aを栽培しています。

生産者の一人は「今シーズンは、夏の長雨により、一部発芽不良がありました。また、出荷量は多く、豊作傾向です」と話すとともに「今後加工用ニンジンの生産を続けていきたいです」と意気込みます。

デジタル社会に対応 女性会役員がスマホ教室を初開催



JAしもつけ女性会は12月15日、アプリで「JAスマホ教室」を初めて開きました。本部役員、JA職員ら19人が参加し、スマートフォンの基本的な操作方法を学びました。

ドコモショップのスタッフが講師を務め、インターネットの特性や注意点を学びながら、スマートフォンでインターネットを使用する方法を学びました。また、JAバンクが普及を進める「JAバンクアプリ」や「JAネットバンク」についても説明を受けました。

荒川葉子会長は「デジタル時代の中で、私たち女性会員にとってもスマホを使いこなすことができることは利点が多い」と強調した上で「今回の教室をきっかけとして、女性会員の生活が、より充実したものになれば」と期待を込めました。

コロナ禍の中2年ぶりの開催 JAしもつけ壬生地区女性会「女性のつどい」



JAしもつけ壬生地区女性会は1月18日、壬生地区営農経済センターで「女性のつどい」を開きました。会員25人が参加し、健康体操と寄せ植えを楽しみました。

健康体操では、ラジオ体操指導員で、壬生町町民活動支援センター「みぶりん」に所属する柴崎享子さんを講師に迎え、ラジオ体操第1・第2や、歌手の氷川きよしさんの曲に合わせて行う「きよしのズンドコ体操」で体を温めました。

続く寄せ植えでは、栃木市の「とちぎ花センター」の職員を講師に迎え、少し季節を先取りして「春に楽しめる花」をテーマに寄せ植えを楽しみました。ラナンキュラスやサクラソウ、カレンジュラなど15種類から6種類を選択。講師のアドバイスを受けながら、寄せ植えを完成させました。

（この部分は上記の文章と重複する内容です）

下都賀地域農政懇談会を開催 下都賀農業振興事務所と下都賀地方農業振興協議会



栃木県下都賀農業振興事務所と下都賀地方農業振興協議会は12月14日、小山市の同県農業共済組合県南支所会議室で令和3年度下都賀地域農政懇談会を開きました。農業者や行政・JA・共済組合等の関係者39人が出席。県が進める「とちぎ農業未来創生プラン」や下都賀地域農業振興計画「若者が夢を描ける新時代農業への挑戦」―これら2つの地域戦略のより効果的な推進に向けて、地域で活躍する農業者等と活発に意見を交わしました。

懇談では、下都賀地域の広域営農システム構築に関連する取り組みを行う農業生産法人や団体の代表者5人を中心に意見交換しました。「ひとづくり・ものづくり」・『地域・基盤づくり』の視点で進める2つの地域戦略」をテーマに、各項目の達成に向けて課題を洗い出し、その解決策についても話し合いました。

ひもつけ文芸

俳句

四季(とき)の窓辺に冬の白雪夏の白百合

森田恵代(藤岡)

枯落葉舞い、落ちる中山路

永田良子(大平)

【壬生俳句愛好会】

ほろ酔の男や缶を蹴つてゆく

金子 恵

マネキンの素足も伸びて春めける

いとうたけし

ビール干すコップも拭ふ紅のあと

山川 都

赤ちゃんの笑ひ声する路地に入る

木村 伝一

本能でなんとか帰る千鳥足

伊沢克明

【渋柿栃木支部】

病室の窓よりみたる雪景色

栃木光歩

窓に日の差しくる書架や初山河

関口了平

本州の最南端や初日講

大橋正義

お隣へ使ひせし児やお年玉

大出義子

着膨れて耳学問を憚らず

田中政子

看護師の子の出勤や大晦日

熊倉敬枝

怖いほど嫁の腕上ぐお節かな

川俣ミチ子

娘より宝くじけふお年玉

関塚トヨ子

主婦の座の六十年や芋雑煮

舘野 操

豆撒きの升は松木のあられ組

渡邊きよし

清貧の母を心に雪見風呂

岩瀬とき子

【大杉句会】

初空や大棟高き神明社

知久新一

望郷の念に迎ぎし初御空

福田千代

【三杉句会】

しばらくは誰も泊まらず冬座敷
初空や菩提寺の鐘流れくる
高橋みち子
佐藤榮江

雲つなき正月や良き兆し

大橋正義

干大根 夜に込めし情と技

熊倉三朗

菩提寺の鐘の響きや大旦

熊倉敬枝

【うづま吟社】

もつの石段高し初不動

黒川弘賢

石灰山よの白さや追儺寺

大出義子

初日の出鳥居を砕く荒磯波

長澤俊幸

「なまはげ」の飲んでゆきたるコップ酒

村田祐紀

大平山へ尾灯のつく初詣

小出典子

読書会の朋をしのびぬ冬銀河

大島秀子

緋の産着かけある仏間千代の春

大関由紀江

水仙をさして青磁のよみがえる

高橋みち子

元朝や三龜山嶺あさぎ色

猿山朝子

年玉の袋は美濃の手漉和紙

渡邊きよし

蠟梅や赤城の風の研ぎし色

岩瀬とき子

川柳

厚着してなお「きさらぎ」か動けない

上岡隆三(藤岡)

ビール麦三寒四温春を待つ

黒須笑夢(大平)

オミクロン人から人へと増殖菌

佐武朗(岩舟)

正月の帰茶の間も火が消える

廣瀬進一(岩舟)

短歌

新年を無事に迎えし同胞(はらから)と

泉 幸代(栃木)

夫の法要心して拝(おろが)む

赤々と染まるよ西山5〜6粒(キロ)初陽の

鼓動(ごどう)虎年(ごとし)に昇る

安生ひでお(都賀)

戸を練れば広き霜野に昇り初む初日に

新年の安泰を祈る

晴れわたる前田の長き電線に初陽を浴びて

雀の居並ぶ

ITよ無限に進め亡き友の元気ですかの

ライン届くまで

お揃いの湯呑茶碗も今つ茶柱立つても老いは

寂しい

膝痛の吾を憂える三才の曾孫がそとトイレ

見に来る

お正月あつと言うまの三ヶ日家族そろいで

新年祝う

晩秋の中山藪に点々と椿山茶花山波もえる

我武者羅に昭和桁あつと間の天の見守り

有難さ知る

短歌俳句川柳の投稿は各支店または本店総務課までとし
どしお寄せ下さい。
締め切りは毎月8日(人言句)でお願します。
作品は楷書で丁寧に書いてください。

お天気カレンダー ~豆まきの豆は?~

気温の平年値を見ると、一年の中で最も低くなるのは、2月初めごろの地域が多くなっています。ちょうど立春のころです。立春を境に気温が上がり始め、寒さの底を抜けるイメージです。

立春は一年の始まり、お正月のようなものです。その意味では、立春の前日の節分は大みそかといえます。

節分には豆まきをします。古代中国では、大豆は鬼毒を殺し、痛みを止めるといわれていたそうです。これに倣って日本でも大豆をまくようになったといえます。また大豆から芽が出たら凶事が起こるとされるため、芽が出ないように大豆をいって、豆まきを使うのです。

いり豆はちょっとしたおやつにも最適ですね。栄養もたっぷり。まだまだ余寒が厳しい日もあり、寒暖の変化が大きいため体調の管理に気を付けたい時期です。節分の日には健康のためにも年の数だけいり豆を食べましょう。



気象予報士(株式会社ハレックス)●檜山靖洋

直売所通信



JAしもつけ管内で農家さんが丹精込めて育てたおいしい農産物を食卓へお届けする直売所の旬な情報をお伝えします。

おすすめはイチゴ

バレンタイン フェア 3日間

2月12日(土) 13日(日) 14日(月)

愛らしい見た目と、そのまま食べられる
手軽さで、人気のイチゴをご用意しました。

食べ比べも
おすすめ!

大きい・美しい・美味しい
スカイベリー

甘みと酸味が絶妙
とちおとめ

甘さ際立つ
とちあいか



各地区直売所(4か所)で開催

栃木 よっとこれ | 都賀 生出宿

壬生 いなばの郷 | 大平 愛菜果

※取扱い品種は店舗によって異なる場合があります、
人気商品のため場合によっては、売り切れて
しまう場合がございます。

直売所 食コラム

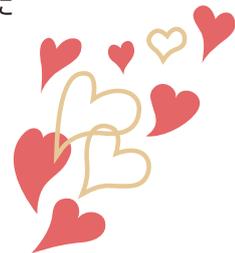
寒さ厳しい2月 イチゴはとっても美味しくなります

「イチゴの栄養」

イチゴは、ビタミンCが豊富で約7粒(大きさにもよる)で、1日の必要量が摂れるほど。
ビタミンCは、風邪予防のほか美肌づくりにも効果が期待できます。
また、水溶性食物繊維の一種であるペクチンに富み、腸内環境を改善して便秘の解消に
つながる効果も期待ができます。

「イチゴの保存方法」

- ①イチゴは長持ちしないので、なるべく早く食べましょう。
- ②保存の際は、ヘタを取らず、洗わずにラップをして冷蔵庫に入れます。
- ③冷凍保存も可能ですが、洗ってヘタと水気を取ってから冷凍しましょう。
冷凍イチゴと牛乳と一緒にミキサーにかけて、イチゴミルクにするのもおすすめ。



JAしもつけの

Facebookもチェック



地場産農産物や直売所イベント情報、
各種活動の様子などを発信しています。
ぜひ、ご覧ください。 QRコードはこちら▶



2月の
ポチカ
ポイント3倍デー



2月 9日(水)・12日(土)
23日(水)・26日(土)

農業収支明細基礎資料についてのお知らせ

令和3年度分の農業収支明細基礎資料は、令和4年1月下旬ごろに送付を予定しております。今年度は農業収支明細基礎資料について、利用の意思確認を行なわせていただくこととなりました。つきましては、右図の出力申込書を農業収支明細基礎資料と共に送付させていただきます。

来年度以降の農業収支明細基礎資料の送付については、**従来お受け取りになられている方であっても、再度出力申込書が必要となります。**農業収支明細基礎資料の送付継続をご希望の方は、お忘れなく申し込みください。

来年度以降の農業収支明細基礎資料の**送付が不要になった方は、出力申込書の提出は必要ございません。**出力申込書の提出がない方につきましては、来年度以降の農業収支明細基礎資料の送付を停止させていただきます。

お手数をおかけいたしますが、ご理解・ご協力いただけますようお願い申し上げます。

農業収支明細基礎資料 出力申込書

下記のとおり、農業収支明細基礎資料の出力を申したいします。

黒色のボールペンで記入ください。

氏名	(フリガナ)
住所	〒
電話番号	
組合員番号	(農業収支明細氏名右下に記載されている番号を記入)

(注) 枠内をすべてご記入ください。システムへの登録が行えませんでしたので、記載漏れ・誤りがないようご注意ください。
個人情報保護シールが同梱されております。記入後に貼付してご利用ください。

農業収支明細の出力には依頼書が必要となっております。そのため、お電話での依頼はお受けしておりません。ご理解いただけますようお願いいたします。

JAしもつけ 営農経済部

JA農機担当者による安心・安全な

庭先点検・保守点検

庭先点検のススメ!

- ・ 機械の調子で気になる点はございませんか?
- ・ JA農機センター担当者が庭先点検に伺います。
- ・ 庭先点検によって使用中のトラブル減少や大きな故障を未然に防げます。
- ・ 各ベルトやオイルの状態をチェックします!!

※簡易点検の結果、必要な調整や部品交換は別途作業料や部品代がかかります。

保守点検のススメ!

- ・ JA農機センターで保守点検を実施しませんか?
- ・ 使用中の突発的なトラブルが減少します。
- ・ 保守点検基本料金の半額を還元します!!

※「保守点検基本料金」は農機センターが定める機種別・性能別の点検基本料金です

※お申込み多数の場合は、ご希望される納期に間に合わない可能性があります。

※お早目にお申込みください

※保守点検基本料金の半額還元は4/1~3/31の期間中において1組合員1回とさせていただきます。

※泥落としや部品代、オイル代等の消耗品代は保守点検基本料金に含まれておりません。

組合員の皆さまへ



お客様の声

JAに庭先点検をしてもらったので安心して作業ができたよ



お客様の声

JAに保守点検をしてもらったので作業中のトラブルがなかったよ



この時期の庭先点検や保守点検はコンバインがおすすめ!!



お問い合わせ しもつけ広域農機センター Tel.0282-29-7033

農業者年金で生活の安定を考えませんか？



終身年金で
安心!

知って得する農業者年金

農業者の方は、国民年金の上乗せの公的な年金「農業者年金」に加入して安心で豊かな老後を!



ポイント
1

農業者なら誰でも入れる「終身年金」です!

年間60日以上農業に従事し、国民年金第1号被保険者(保険料免除者を除く。)である60歳未満の方が加入できます。農業者年金は、積立方式・確定拠出型で少子高齢時代に強い制度です。

ポイント
2

一定の要件を満たす方には、月額最大1万円の保険料補助

認定農業者で青色申告している方やその方と家族経営協定を結んだ配偶者・後継者の方など一定の要件を満たす方には、保険料の国庫補助(月額2万円の保険料のうち最高1万円、通算すると最大で216万円)があります。

ポイント
3

加入で大きな節税効果!保険料は全額社会保険料控除の対象

生涯を通じて税制面で大きな優遇措置があります。

農業者年金の内容やご相談については、
最寄りのJAか農業委員会または農業者年金基金にお問い合わせください。

農業者年金基金
▶相談員TEL: 03-3502-3199
▶企画調整室TEL: 03-3502-3942
詳しくは <https://www.nounen.go.jp>

グルメ直行便頒布会「2あわせ便&スペシャル便」

今回も納得のお得感!!

1商品あたり

3,888円
(配送料・消費税込)

●まとめてお得な「2あわせ便」

年6回のお届けで格安に!
一度のお届けで2個まとめた分だけ送料が
半分になるのでお得!!
お受け取りの煩わしさもなくなります。



●新鮮素材の「スペシャル便」

毛ガニやウニ、馬刺しや活くるま海老など、
厳選された旬の高級食材をお楽しみください!

ご入会、受付締切は **4月20日(水)** です。

販売元

しもつけ

下野農業協同組合

- 栃木地区営農経済センター TEL(0282)27-7771
- 都賀地区営農経済センター TEL(0282)27-5792
- 壬生地区営農経済センター TEL(0282)82-2981
- 大平地区営農経済センター TEL(0282)43-0803
- 藤岡地区営農経済センター TEL(0282)62-4336
- 岩舟地区営農経済センター TEL(0282)55-5518

※お申込み・お問合せは、上記営農経済センターへお願いします。

令和4(2022)年農業用免税軽油に係る 一括交付期間後の申請について

農業用の軽油引取税免税証については、市町ごとに申請期間を設けて申請の受付をしております。

今回、期間内に申請出来なかった方について、下記により申請を受け付けますので、交付を希望する方はご利用ください。なお、今回の申請期間を過ぎますと、1年分の全量交付ができないことがありますので、御留意ください。

1 受付日、受付時間 **令和4(2022)年3月3日(木)、3月4日(金)**
各日とも午前9:00～11:30、午後1:00～3:30

2 会場

下都賀庁舎 第2福利厚生棟2階会議室
(栃木市神田町6-6)

3 対象地区

栃木県税管内全ての市町
(栃木市、小山市、下野市、壬生町、野木町)



4 申請の際に持参するもの

- (1) 免税軽油使用者証
- (2) 免税軽油の引取り等に係る報告書 (※新規申請以外の方)
(納品書又は領収書を添付、写しでも可。未使用の免税証を添付(原本))
- (3) 使用者証更新手数料 420円 (※新規申請及び使用者証更新の場合)
- (4) 耕作証明書 (※新規申請及び耕作面積が変更になった場合)
使用者証更新のみの場合、耕作証明は不要です。

- 注: ①新規申請の方は、免税証の交付は後日になります。
②新規申請及び免税機械の追加や入替えをされる方は、機械を取得したことが確認できる書類(契約書・納品書・領収書等)を持参するか、機械の「メーカー名」「型式」「馬力」をメモ等に控えてきてください。
③更新手数料420円は、つり銭の無いよう御協力をお願いします。
④国税及び地方税の差押え等の滞納処分を受けられた方は、処分解除の日から2年を経過しなければ申請できません。
⑤新型コロナウイルスによる感染症の拡大防止のため、マスクの着用及び手指の消毒の御協力をお願いします。また、発熱や風邪の症状がある方は、来場を見合わせるようお願いします。

5 問い合わせ先

栃木県税事務所
軽油引取税調査担当 ☎0282-23-6882



2月 しもつけインフォメーション

第10回 理事会報告

日時：令和3年12月28日(火)
午後1時30分
場所：アプロニー5階 エメラルドホール

- (1)11月末実績検討について
- (2)令和3年度上期監事監査改善回答書について
- (3)令和4年度事業計画の考え方について
- (4)役員選出に係る検討委員会の設置について
- (5)就業規則及び職員給与規程の一部改正について
- (6)ライスセンター機器更新に伴う固定資産取得について
- (7)その他

～組合員 各位～

新型コロナウイルス感染再拡大に伴う 広報誌「しもつけ」の配達方法について

いつもJA各事業へのご理解・ご協力を賜りまして誠にありがとうございます。

見出しの件につきまして、本県における新型コロナウイルス感染症は、一時は減少傾向となり、警戒度レベルが1（維持すべきレベル）まで下がりました。そのため、1月号につきましては、基本的な感染拡大防止対策を引き続き徹底した上で、対面での配達を再開させていただきました。

しかし、このたびの急激な感染再拡大により、1月27日（木）から本県も「まん延防止等重点措置」の対象地域に指定されております。

以上を踏まえ、組合員の皆さまの安全と健康を第一に考え、対面での配達を避け、ポスト等への投函による配達とさせていただきます。ご理解・ご協力をお願い申し上げます。



経済店舗休業のお知らせ

決算棚卸のため、下記のとおり店舗を休業させていただきます。
組合員の皆さまには何かとご不便をおかけいたしますが、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

店舗休業日 令和4年 2月28日(月)午後1時～休業

福祉事業廃止のお知らせ

平成15年の事業開始以来18年にわたり継続してまいりました福祉事業につきましては、諸般の事情により誠に勝手ながら令和4年2月末日をもちまして事業を終了することとなりました。
ご利用者・ご家族の皆さまの長年にわたるご愛顧に感謝申し上げます。

JAしもつけ

2月 今月のおっ!楽しみ

このコーナーでは、地域で活躍する皆さんの紹介や大好評「クイズコーナー」、広報誌の編集担当者がチラッと語らせてもらう編集後記をお送りいたします。



鑑定に臨む参加者

JAしもつけは1月20日、本店会議室で「農産物検査員持回り鑑定会」を開きました。検査員30人が参加し、適正な検査体制の確立と高品質な農産物の供給に向けて、検査における精度の向上を図りました。

今回用意した鑑定資料は、水稲うるち玄米35点と水稲もち玄米5点の合計40点。検査員は、カルトンに入ったサンプルを一点ずつ真剣な眼差しで見極め、うるち玄米では、1等から規格外の4等級、もち玄米では、1から3等の3等級から正答を解答用紙に記入していきました。

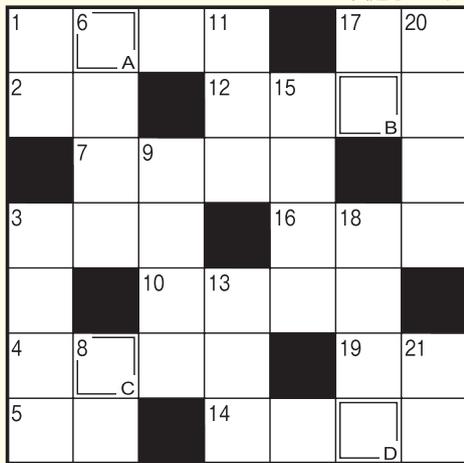
競技の結果、正答率が高かった上位4人がJA代表として、2月10日に開催の「JAグループ栃木農産物鑑定会及び持回り鑑定会」に出場します。

農産物検査員のさらなる技術向上を目指し鑑定会

パズル? 頭の体操

三重マスの文字をA~Dの順に並べてできる言葉は何でしょうか?

出題●ニコリ



- ニコリのカギ
- 1 節分の日に丸かじりする地方もあります
- 2 歯がある履き物
- 3 世界遺産には文化遺産や――遺産があります
- 4 ほっそりした指の例えに使われる魚
- 5 酸っぱいものを見ると湧きます
- 6 特定のヤギの毛を使った高級な毛織物
- 7 受験生が勝ち取りたいもの
- 8 江戸幕府の旗本、御家人の総称
- 9 頭をたたいてみれば文明開化の音がる
- 10 酒のお供です
- 11 年齢を尋ねられたので――を讀んで答えちゃった
- 12 愛を英語でいうと
- タテのカギ
- 1 カ士が頭のてつぺんに結います
- 2 ベッドルームともいいます
- 3 南へと吹き抜けていきます
- 4 父はロバ、母はウマ
- 5 青↓黄↓赤と変わるものをよく見掛けます
- 6 宍道湖の名産である二枚貝
- 7 水瓶座と牡羊座の間
- 8 訴えや申請などが退けられること
- 9 ーかまぼこ、ー団子、ー笛
- 10 鉄道のレールの下に並べます
- 11 テレビーの録画を予約した
- 12 魚へんに師と書く出世魚

1月号 まちがい探しの答え

- ①盆栽の札が違う
- ③障子が破れている
- ⑦雑煮の餅の伸び方が違う
- ⑩おせちの飾りがない
- ⑫杯が少ない

「読者からのお便り」「まちがい探し(クロスワードパズル)」へのご参加お待ちしております

お便りをいただいた方に抽選でステキな商品を差し上げます。ハガキ・封書での郵送、ファックス、Eメール、あるいはJA職員にお渡しください。締切は毎月20日(20日が土・日・祝日の場合は、その次の営業日)必着。なお、感想やコメントは「読者からのお便り」に使用する場合がありますので、ご了承の上ご応募ください。

1月号の当選者

1月号の当選者はこちらの方です。おめでとうございます。
 永島房枝さん(栃木)

- 【あて先】
- 〒328-0053 栃木市片柳町2-1-44
- JAしもつけ総務課 広報係
- 【FAX】0282(24)7882
- 【Eメール】hp-info@ja-shimotsuke.or.jp
- ①「おたのしみコーナー」の答え
- ②「読者のお便り」へのコメントや広報誌の感想、最近思う事
- ③郵便番号、住所、氏名(ふりがな)、年齢、電話番号をお忘れなく

編集後記

時間が過ぎるのは本当に早いもので、「あっ」と言うまにJAの事業年度末である2月を迎えてしまいました。今年度も読者の皆さまをはじめとする多くの方のご協力をもって、広報誌「しもつけ」の編集に携わることができました。誠にありがとうございました。(編集担当T)